

令和6年度 第3回 県政インターネットモニターアンケート

※表中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：460人（回答率：82.4%）		
カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	193 42.0%
	女性	264 57.4%
	その他	3 0.7%
年代	10代	12 2.6%
	20代	36 7.8%
	30代	43 9.3%
	40代	78 17.0%
	50代	124 27.0%
	60代	92 20.0%
	70代	58 12.6%
	80代	17 3.7%
	90代	0 0.0%
住所	賀茂	3 0.7%
	東部	139 30.2%
	中部	164 35.7%
	西部	153 33.3%
職業	県外	1 0.2%
	自営業	32 7.0%
	会社員	137 29.8%
	公務員	17 3.7%
	パート・内職従事者	85 18.5%
	学生	37 8.0%
無職	128 27.8%	
その他	24 5.2%	

○循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

問1（回答数1）	n=460	人	%
1	ごみが環境に与える影響はかなり深刻であり、現在の生活を大きく変えるような負担や対応が必要	134	29.1%
2	ごみが環境に与える影響は深刻であり、現在の生活を変えるような負担や対応が必要	206	44.8%
3	ごみが環境に与える影響は一定程度であり、一人ひとりの意識的な対応が必要	115	25.0%
4	ごみが環境に与える影響は軽微であり、当面は一人ひとりの意識的な対応の必要はない	4	0.9%
5	ごみが環境に与える影響はほとんどない、またはない	1	0.2%

問2（回答数1）	n=460	人	%
1	聞いたことがあり意味を知っている	405	88.0%
2	聞いたことがあるが意味は知らない	39	8.5%
3	聞いたことがない	16	3.5%

問3（回答数1）	n=460	人	%
1	聞いたことがあり意味を知っている	72	15.7%
2	聞いたことがあるが意味は知らない	89	19.3%
3	聞いたことがない	299	65.0%

問4（回答数複数回答可）	n=460	人	%
1	海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」	155	33.7%
2	教えて食品ロス削減キャンペーン	172	37.4%
3	ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン	72	15.7%
4	食品ロス削減推進フォーラム	104	22.6%
5	ふじのくにエコショップ宣言制度	55	12.0%
6	静岡県リサイクル製品認定制度	50	10.9%
7	地球温暖化対策アプリ「クルポ」	123	26.7%
8	不法投棄110番	99	21.5%
9	知っているものはない	137	29.8%

問5（回答数1）	n=460	人	%
1	海洋プラスチックごみ問題を知っており、防止のための行動を必ず実践している	142	30.9%
2	海洋プラスチックごみ問題を知っており、防止のための行動を時々実践している	174	37.8%
3	海洋プラスチックごみ問題を知っているが、防止のための行動を実践していない	122	26.5%
4	海洋プラスチックごみ問題を知っているが、問題だと認識していない	8	1.7%
5	海洋プラスチックごみ問題を知らない	14	3.0%

問5-2（回答数複数回答可）	n=316	人	%
1	レジ袋をもらわない、または、マイバッグ・マイバケツを使用する	289	91.5%
2	ペットボトルを控えてマイボトルを使用する	191	60.4%
3	プラスチック製品を繰り返し使用する	179	56.6%
4	プラスチック製品をリユースする取組に参加する	110	34.8%
5	プラスチック容器の店頭回収を利用する	178	56.3%
6	地域のルールに従ってプラスチックごみを分別し、リサイクルに回す	219	69.3%
7	使い捨てプラスチックの食器、フォーク、ストローなどを使用しない	111	35.1%
8	外出時に出たプラスチックごみを持ち帰る	154	48.7%
9	海岸、河川、道路などの清掃活動へ参加する、路上などに落ちていたごみを拾う	68	21.5%
10	紙や木などの代替素材の製品を利用する	79	25.0%
11	その他	3	0.9%

問6（回答数複数回答可）	n=460	人	%
1	各地域における清掃活動予定の紹介	115	25.0%
2	6Rの取組例の紹介	154	33.5%
3	県・市町・賛同企業などによる啓発などイベントの情報	165	35.9%
4	子どもが実践できる取組の情報	122	26.5%
5	各地域における分別方法の情報	145	31.5%
6	スーパーマーケットなどの店頭回収の情報	238	51.7%
7	容器や素材の見直しに取り組んでいる企業や製品の情報	126	27.4%
8	特になし（わからない）	42	9.1%
9	その他	20	4.3%

問7（回答数1）	n=460	人	%
1	食品ロス問題を知っており、削減のための行動を必ず実践している	183	39.8%
2	食品ロス問題を知っており、削減のための行動を時々実践している	218	47.4%
3	食品ロス問題を知っているが、削減のための行動は実践していない	55	12.0%
4	食品ロス問題を知っているが、問題だと認識していない	2	0.4%
5	食品ロス問題を知らない	2	0.4%

問7-2（回答数複数回答可）	n=401	人	%
1	料理を作り過ぎない	225	56.1%
2	残らずに食べる	329	82.0%
3	残った料理を別の料理に作り替える	113	28.2%
4	冷凍保存を活用する	273	68.1%
5	日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	203	50.6%
6	賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	273	68.1%
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べられる量を購入する	130	32.4%
8	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	92	22.9%
9	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を優先して選ぶ	199	49.6%
10	飲食店などで注文し過ぎない	157	39.2%
11	外食時には、小盛りメニューなど希望に沿った量で料理を提供する店を選ぶ	51	12.7%
12	ドギーバッグを活用する	46	11.5%
13	フードバンクやフードドライブを活用する	38	9.5%
14	備蓄食品は、ローリングストックにより、無駄にしない	139	34.7%
15	その他	3	0.7%

問8（回答数複数回答可）	n=460	人	%
1	食品ロスを削減できる取組例の紹介	232	50.4%
2	県・市町によるイベントなどの情報	146	31.7%
3	企業によるイベントなどの情報	106	23.0%
4	子どもが実践できる取組の情報	93	20.2%
5	家庭で眠っている食品の寄附先の情報	131	28.5%
6	食料を使いすぎる調理法の紹介	164	35.7%
7	特になし	52	11.3%
8	その他	15	3.3%

問9（回答数複数回答可）	n=460	人	%
1	買い物袋を持参する	417	90.7%
2	詰め替え製品を使う	353	76.7%
3	使い捨て製品は買わない	107	23.3%
4	簡易包装を申し出る、または、取り組む店を利用する	142	30.9%
5	壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ	177	38.5%
6	買いすぎ、作りすぎ、食べ残しをしないなど、食品を捨てない	293	63.7%
7	生ごみはよく水切りをしてから捨てる	178	38.7%
8	マイグズを使う	224	48.7%
9	壊れたものは修理して長く使う	198	43.0%
10	不用品をバザーやフリーマーケットに出したり、友人・知人と融通し合う	111	24.1%
11	生ごみを堆肥にする	64	13.9%
12	市町のごみ分別ルールを守る	296	64.3%
13	トレイや牛乳パックなどの店頭回収、古紙や古着の回収に協力する	254	55.2%
14	取り組んでいることはない	4	1.3%
15	その他	7	1.5%

問10（回答数複数回答可）	n=460	人	%
1	廃棄物の発生抑制・再使用の推進	255	55.4%
2	プラスチックごみ対策の推進	248	53.9%
3	産業廃棄物の適正処理の推進	162	35.2%
4	不法投棄対策の推進	245	53.3%
5	災害廃棄物の適正処理の推進	106	23.0%
6	廃棄物処理体制の充実	133	28.9%
7	食品ロス対策の推進	185	40.2%
8	循環産業の振興支援	102	22.2%
9	住民などへの啓発、関係機関との連携強化	128	27.8%
10	特になし	23	5.0%
11	その他	10	2.2%

○「茶の都」づくりの認知度に関する意識調査

問1（回答数1）	n=460	人	%
1	よく知っている	78	17.0%
2	ある程度は知っている	194	42.2%
3	聞いたことはある	122	26.5%
4	聞いたことがない	66	14.3%

問2（回答数1）	n=460	人	%
1	ほぼ毎日	263	57.2%
2	週に3～5日程度	51	11.1%
3	週に1～2日程度	49	10.7%
4	月に2～3回程度	35	7.6%
5	月に1回程度	20	4.3%
6	それ以下の頻度	19	4.1%
7	飲まない	23	5.0%

問2-2（回答数1）	n=437	人	%
1	急須などで茶葉から入れる	240	54.9%
2	ペットボトル	111	25.4%
3	ティーバッグ	58	13.3%
4	粉末	23	5.3%
5	その他	5	1.1%

問3（回答数1）	n=460	人	%
1	とても期待する	154	33.5%
2	少し期待する	211	45.9%
3	どちらともいえない	57	12.4%
4	あまり期待しない	28	6.1%
5	まったく期待しない	10	2.2%

問4（回答数1）	n=460	人	%
1	よく知っている	66	14.3%
2	ある程度は知っている	103	22.4%
3	聞いたことはある	65	14.1%
4	聞いたことがない	226	49.1%

問5 (回答数1)	n=460	人	%
1 高くても購入したい	10	2.2%	
2 少々高い程度なら購入したい	168	36.5%	
3 他のものと値段が変わらないなら購入したい	254	55.2%	
4 購入しない	28	6.1%	

問6 (回答数1)	n=460	人	%
1 すでに行ったことがある	145	31.5%	
2 ぜひ行ってみたい	60	13.0%	
3 機会があれば行ってみたい	205	44.6%	
4 興味が無い	40	8.7%	
5 分からない	10	2.2%	

問6-2 (回答数1)	n=145	人	%
1 たびたび行きたい	3	2.1%	
2 たまに行きたい	47	32.4%	
3 またいつか行きたい	55	37.9%	
4 新しい展示内容になったら行きたい	9	6.2%	
5 新しいイベントが開催されたら行きたい	17	11.7%	
6 行かないと思う	14	9.7%	

○里親制度に関する意識調査

問1 (回答数1)	n=460	人	%
1 知っていた	282	61.3%	
2 聞いたことはあったが、詳しいことは知らなかった	152	33.0%	
3 知らなかった	26	5.7%	

問1-2 (回答数複数回答可)	n=434	人	%
1 知人・友人から聞いたことがある	70	16.1%	
2 学校で教わったことがある	51	11.8%	
3 地域や知人等で里親になっている人がある	54	12.4%	
4 新聞で見た	175	40.3%	
5 テレビで見た	247	56.9%	
6 インターネットで見た	79	18.2%	
7 SNSで見た	21	4.8%	
8 自治体の広報誌で見た	92	21.2%	
9 チラシ・パンフレットで見た	43	9.9%	
10 その他	25	5.8%	

問2 (回答数1)	n=460	人	%
1 こどもは、家庭的な環境で育つ方がいいので、施設より里親制度を広めていくことが重要である	265	57.6%	
2 児童養護施設等を充実させることが重要である	75	16.3%	
3 こどもは生みの親に育ててもらうのが一番なので、里親は必要ない	6	1.3%	
4 分からない	80	17.4%	
5 その他	34	7.4%	

問3 (回答数1)	n=460	人	%
1 両方とも知っていた	91	19.8%	
2 児童相談所のみ知っていた	141	30.7%	
3 児童家庭支援センターのみ知っていた	8	1.7%	
4 両方とも知らなかった	220	47.8%	

問4 (回答数3つまで)	n=460	人	%
1 里親制度が知られていないため、馴染みがない	155	33.7%	
2 制度は知っていても、血縁関係のないこどもの養育に関する情報が不足している	235	51.1%	
3 社会貢献の考えが社会に定着していない	152	33.0%	
4 こどもを社会全体で養育すべきという風潮が乏しい	189	41.1%	
5 児童養護施設等で養育するのが一般的であるとの考えが根深い	106	23.0%	
6 里親制度を広めるための行政の取組が不足している	107	23.3%	
7 分からない	16	3.9%	
8 その他	54	11.7%	

問5 (回答数3つまで)	n=460	人	%
1 テレビ・新聞等マスメディアで広報する	244	53.0%	
2 学校や社会教育の場で啓発する	164	35.7%	
3 里親に関するシンポジウムやイベントを開催する	129	28.0%	
4 実際の里親による体験発表会を開催する	124	27.0%	
5 一日里親体験などを開催する	96	20.9%	
6 公共施設などにパンフレットを置いたり、ポスターや看板を設置する	60	13.0%	
7 県のホームページを充実させる	27	5.9%	
8 ショッピングセンターなど身近なところに、里親の相談窓口を設ける	74	16.1%	
9 自治体の広報誌に掲載する	64	13.9%	
10 SNSを利用して広報を行う	49	10.7%	
11 分からない	22	5.2%	
12 その他	27	5.9%	

問6 (回答数1)	n=460	人	%
1 知っている	23	5.0%	
2 詳しくは知らないが聞いたことがある	67	14.6%	
3 知らない	370	80.4%	

問7 (回答数1)	n=460	人	%
1 非常に関心がある	21	4.6%	
2 まあまあ関心がある	85	18.5%	
3 あまり関心がない	174	37.8%	
4 まったく関心がない	95	20.7%	
5 分からない	85	18.5%	

問7-2 (回答数3つまで)	n=106	人	%
1 妻子がいらないから	26	24.5%	
2 妻子以外の子育てもしたいから	15	14.2%	
3 社会貢献のため	56	52.8%	
4 こどもが好きだから	39	36.8%	
5 自分の職業で得た知識や経験が役立つと思うから	22	20.8%	
6 知人が里親になっていて良いことだと思うから	9	8.5%	
7 その他	9	8.5%	

問7-3 (回答数複数回答可)	n=106	人	%
1 里親登録の申請は、市の児童福祉担当課、児童相談所及び児童家庭支援センターで受け付けている	35	33.0%	
2 里親になるためには研修受講が必要である	64	60.4%	
3 里親には養育里親・専門里親・養子縁組里親・親族里親がある	32	30.2%	
4 里親への支援は児童相談所及び児童家庭支援センターが行っている	30	28.3%	
5 里親には、里子の生活費や里親手当が公費で支払われている	39	36.8%	
6 施設で暮らすこどもを週末や夏休みなどの期間だけ預かる事業がある	24	22.6%	
7 保護者の疾病などの理由によってこどもを家庭で養育することが一時的に難しくなった場合に、市町村からの委託によって、里親等が短期間こどもを預かる事業がある	20	18.9%	
8 里子として預かっているこどもでも、保護者との面会や外泊などの交流をすることがある	23	21.7%	
9 地区ごとに里親会があり、普及活動や、交流行事を開催している	13	12.3%	
10 その他	14	13.2%	

問7-4 (回答数複数回答可)	n=106	人	%
1 0歳～3歳未満	54	50.9%	
2 3歳～就学前	67	63.2%	
3 小学校低学年	53	50.0%	
4 小学校高学年	22	20.8%	
5 中学生	19	17.9%	
6 中学卒業後	13	12.3%	

問7-5 (回答数複数回答可)	n=269	人	%
1 子育て(こども)に興味がないから	27	10.0%	
2 経済的に難しいから	102	37.9%	
3 血縁関係のないこどもの養育は難しいと思うから	82	30.5%	
4 現在の生活が忙しく、里親となりこどもを養育する余裕がないから	68	25.3%	
5 自分のこどもの子育てで精一杯だから	64	23.8%	
6 責任が持てないから	79	29.4%	
7 社会福祉・社会貢献に関心がないから	0	0.0%	
8 子育て経験が無いから	30	11.2%	
9 自分の年齢で、子育てをするのは難しいから	82	30.5%	
10 制度のことがよく分からないから	12	4.5%	
11 その他	20	7.4%	

問8 (回答数1)	n=460	人	%
1 支援したいと思う	279	60.7%	
2 支援したいと思わない	36	7.8%	
3 分からない	145	31.5%	

問8-2 (回答数3つまで)	n=279	人	%
1 衣類を提供する	106	38.0%	
2 こどもの話を聞く	125	44.8%	
3 一緒に遊ぶ	113	40.5%	
4 宿題・勉強をみる	107	38.4%	
5 一緒に食事をする	73	26.2%	
6 保護者が不在の間、こどもを預かる	48	17.2%	
7 具体的な内容は分からない	38	13.6%	
8 その他	5	1.8%	

○「子育ては専い仕事」であるという理念の浸透に関する意識調査

問1 (回答数1)	n=460	人	%
1 そう思う	237	51.5%	
2 どちらかと言えばそう思う	146	31.7%	
3 どちらかと言えばそう思わない	23	5.0%	
4 全くそう思わない	17	3.7%	
5 わからない	22	4.8%	
6 その他	15	3.3%	

問2 (回答数1)	n=460	人	%
1 知っている	276	60.0%	
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	85	18.5%	
3 聞いたことがない	99	21.5%	

問3 (回答数1)	n=460	人	%
1 対象者である	109	23.7%	
2 対象者ではない	351	76.3%	

問3-2 (回答数1)	n=109	人	%
1 ほぼ毎日利用している	0	0.0%	
2 1週間に数回利用している	3	2.8%	
3 1ヶ月に数回利用している	12	11.0%	
4 1年間に数回利用している	50	45.9%	
5 過去に利用したことはあるが、最近(1年間程度)は利用していない	34	31.2%	
6 全く利用していない	10	9.2%	

問3-3 (回答数複数回答可)	n=109	人	%
1 経済的に助かる	58	53.2%	
2 協賛店舗・施設の子育てをサポートしようという温かい気持ちがある	44	40.4%	
3 協賛店舗・施設には良いイメージを持っている	51	46.8%	
4 今後も協賛店舗で買い物などをしようと思う	29	26.6%	
5 子どもと一緒に買い物などに出かけのきっかけになる	17	15.6%	
6 その他	9	8.3%	

問3-4 (回答数複数回答可)	n=109	人	%
1 協賛店舗をもっと増やしてほしい	81	74.3%	
2 よりお得な応援サービスを提供してほしい	61	56.0%	
3 他のカードの特典と重複しない、特別な応援サービスを提供してほしい	27	24.8%	
4 子ども同伴でなくても、応援サービスが受けられるようにしてほしい	41	37.6%	
5 店舗側から「しずおか子育て優待カードをお持ちですか?」と声をかけてほしい	56	51.4%	
6 事業の内容がよくわからない	9	8.3%	
7 どの店舗が協賛しているのかわかりにくい	38	34.9%	
8 子育て家庭への支援としてあまり効果がないため必要ない	5	4.6%	
9 その他	5	4.6%	

問3-5 (回答数1)	n=109	人	%
1 知っており、県外で使用したことがある	14	12.8%	
2 知っているが、県外で使用したことはない	43	39.4%	
3 聞いたことはあるが、内容は知らない	13	11.9%	
4 聞いたことがない	39	35.8%	